

第30回SST普及協会全国経験交流ワークショップ

in北海道 2026

空と大地とSST

そして、太陽のように輝くSST実践者たち、集まれ！

主催：SST普及協会 共催：SST普及協会北海道支部

2026年 7月25日（土曜日）

7月26日（日曜日）

開催時間…25日10:00～26日16:00

※オープニングセッション 25日9:00～

※前夜祭としての研修会 24日18:30～

空気・水・たべもの
コミュニケーション

会場：札幌医科大学 保健医療学研究棟

札幌市中央区南2条西17丁目 ※会場への問合せはご遠慮ください

会長講演：大切な対人認知を支えるもの
—SSTに取り組む人のために

大会長講演は4.5時間予定！

ワークショップ各種

シンポジウム：児童へのSST

認定講師研修会

オープニングセッション



@30THSSTWSINHOKKAIDO



大会SNS
をたち



大会HP

STEP 1



お申込み

STEP 2



WS選択

お申込み後にWSを選択

大会長
土田 正一郎



実行委員長
大濱伸昭



大会事務局長
三浦由佳



第30回経験交流ワークショップ in 北海道のご案内

大会長：土田 正一郎

「私は個人的に今ではなく、これから先のことを考えていることが多い。患者さんの不適切な行動も今抑えるのではなく（仕方なく抑える時もあるが）、理想的にはご本人がその行動の不適切さに自分で気付いて自らの思いで適応的な行動に行動変容する方がしっかり身に付くし、定着率もよいと思っている。何か大きな外力で強制的に変えるより、必然的な流れ



の中で緩やかに無理なく変化していくほうが環境にも体にも良いものだと信じている。刹那的な仮初の平和に拘ってその場しのぎを繰り返していると、百害あって一利なし（誰の幸せにもなっていない）であるということが、日本の政治の現状を見れば自明のことと簡単に理解できる。折角生きているのだから、今をよく生きるだけでなく、これからの世代がよりよく生きられることに少しでも貢献したいと、ちょっと遅いが50歳を過ぎてから強く思うようになった。という訳でやっと今回のワークショップのテーマである。北海道と言えば、果てしなく広がる「空と大地」というイメージを持たれやすいが、これから100年後の北海道のイメージは「空と大地とSST」となるように多くの北海道民が日常生活の中で普通にSSTマインドに基づいて生活しているようにするという野望を抱いている。いつも日にか、そういう北海道に出会うための日々のSST普及活動である。」

テーマ「空と大地とSST」



実行委員長
大濱伸昭

生物学者のM. スワンソン女史は人間が生きていくために不可欠な要素として、『水』『空気』『食べ物』に加えて『コミュニケーション』を挙げています。そして、コミュニケーションとは、“人間の心の温かさの交換”つまり“思いやりのやりとり”であると言っています。SSTが人とのつながりにおいて、必要な支援であることと、北海道のイメージを加えたテーマとなっています。

主なる内容としては、会長講演、大会長講演、シンポジウム、オープニングセミナー、認定講師研修会など盛りだくさんの企画とともに情報交換会も行います。特に分科会では、「会員企画セミナー」への応募が12枠も！！とても学びの多い機会になると思います。ぜひともご参加ください。



大会事務局長
三浦由佳

運営事務局

〒062-0933 札幌市豊平区平岸3条13丁目1-33

ライオンズマンション平岸通り2階 就労継続支援B型事業所 おりなす内

TEL 011-799-0495 FAX 011-799-1834

E-mail: sst.ws.hokkaido2026@gmail.com